

“ホスピタルギャラリー be「和紙を装う」展”を開催しています

本院では武蔵野美術大学との共同研究により、「美術」と「医術」のコラボレーション、「美(b)」と「医(e)」のコラボレーションとして、ホスピタルギャラリー beを西病棟1階に設置し、県内作家の作品や武蔵野美術大学の学生作品を展示しています。

令和6年4月22日から令和6年8月24日の期間、創作和紙人形作家 金山 侁子氏の作品による「和紙を装う」展を開催しています。本院にお越しの際は、是非ご覧ください。

期間：令和6年4月22日(月)～令和6年8月24日(土)

場所：ホスピタルギャラリー be(西病棟1階ロビー) 協力：武蔵野美術大学



予約の変更はインターネットから!「やくばと病院予約」がはじまります

現在、再診の予約変更は予約センターと各診療科の外来で電話受付しておりますが、「電話が繋がりにくい」というご意見が多く寄せられております。この課題を解決すべく、この度、インターネットを使って再診の予約変更の申し込みができる「やくばと病院予約」を7月に導入する予定です。

病院ホームページのリンク先からメールアドレスを登録いただきますと申し込みフォームが送信されますので、ご希望の内容を申し込みください。予約センターで申し込み内容を確認のうえ、数日のうちに、決定した予約変更についてご返信させていただきます。

「やくばと病院予約」からは24時間365日いつでも申し込みできますので、是非ご利用ください。

令和6年「看護の日・看護週間」の取り組みとしてイベントを開催しました

「5月12日は看護の日」

「看護の心をみんなの心に」



近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ「国際看護師の日」が制定されました。看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、日本では平成2年に「看護の日」が制定されました。

「看護の日」を含む週の日曜日～土曜日は「看護週間」とされ、全国各地で取り組みが行われ、徳島大学病院看護部では、5月13日～5月17日の間に外来患者さん、入院患者さんへ看護部キャラクターのロゴマーク付きの文具などを配布しました。